

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相馬市立中村第二中学校（福島県）

【取組内容①】 個別最適な学びの実現に向けた習熟度別学習の実施（数学科-未来の教室充実事業）

工夫した
ポイント

撮影した動画と1人1台端末を用いることにより、教師1人で習熟度別学習ができるよう工夫した。

〈授業の実際〉 単元名「相似な図形」

主な学習活動

三角形と比の定理、中点連結定理、平行線と比の定理を使って線分の長さを求める。

1 本時のねらい

線分の長さを求めるためには、定理や補助線を引くことが重要であることに気づく。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

タブレット

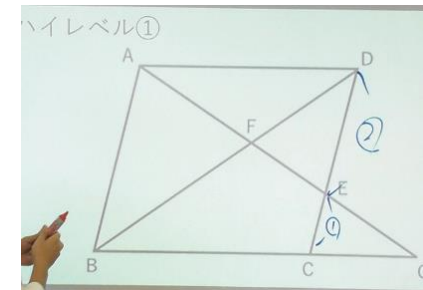
プロジェクタ

3 活用のポイント

主な学習活動	ICT機器活用のポイント
ベーシックコース、スタンダードコース、ハイレベルコースの3つのコースから、1つ選んで問題を解く。	生徒が自分の習熟度に応じて、コースを選んで問題を解くときに、一人一台のTPCを利用し、解説動画を見ながら、自分のペースで問題解決を図られるようにする。



解説動画を見て、問題解決を進める生徒たちの様子



問題解説の動画の様子

4 活用効果

基本的な問題から発展的な問題まで数多くの問題から選択できることが、個別最適な学びの実現につながり、生徒の理解につながっていた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相馬市立中村第二中学校（福島県）

【取組内容①】 学校全体における協働学習の実施（学級活動-未来の教室充実事業）

工夫した
ポイント

Google Meetで全学年・全クラスをつなぐことで、学年を超えた協同学習を行うことができるよう工夫した。

〈授業の実際〉

主な学習活動

情報機器やインターネットを利用することで起こるトラブルに巻き込まれる危険性について学ぶ。

1 本時のねらい

利用者全員が、情報モラルを守りながら、情報機器やインターネットを利用した生活をしていくにはどうすればよいか考え、表現することができる。

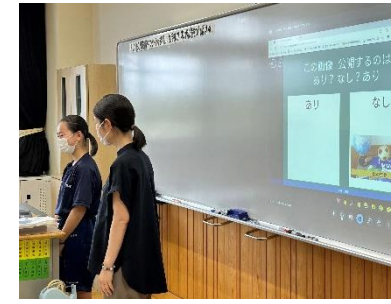
2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

プロジェクタ

Google classroom

3 活用のポイント

主な学習活動	ICT機器活用のポイント
<p>全校の意見を知り、自分たちの考えと比較する。 自分たちのグループの意見を再検討し、必要があれば修正を図る。</p>	<p>グループ活動や、学習支援ソフトを活用して全校の意見の共有をすることで、他者との意識の違いを確認できるようにする。他のグループの意見と比較し、自分たちで一度結論づけた意見を再検討することで学習内容について、より深く考えることができるようにする。</p>

ファシリテータによる
情報発信の様子学級での話合いの様子
(学級担任が指導者)

4 活用効果

タブレット端末で資料を操作しながら発表することで、根拠を示しながら自分の考えを伝えることが出来た。また、自分たちの意見を修正する際にも、資料に加筆して提示する事で、容易に意思表示をすることができた。さらに、ネットワークを通して、全学年をつなぐことによって考えの違う多くの人と意見を交換することが、深い学びへとつながっていた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相馬市立中村第二中学校（福島県）

【取組内容①】 Google Meetを用いた遠隔地との交流授業の実施（理科-未来の教室充実事業）

工夫した
ポイント

Google Meetを活用し、遠隔地にある学校と本校をリアルタイムでつなぎ、それぞれの所在地の気象を比較することで学習内容の深化を図った。

〈授業の実際〉 単元名「天気とその変化」

主な学習活動

他地域における気象現象がもたらすめぐみと災害についての発表を聞き、自分たちの地域と比較する。

1 本時のねらい

他地域における気象現象がもたらすめぐみと災害についての発表を聞き、自分たちの地域と比較することで、自然と人間のかかわり方について、自分の考えを表現することができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

電子黒板

Google Meet

遠隔地の学校と意見を
交流する生徒の様子

授業を進行する教師の様子

3 活用のポイント

主な学習活動	ICT機器活用のポイント
気象現象が生活にもたらす影響について、両校の発表を行い、発表から気付いたことについて、リモートで話し合い活動を行う。	(Google Meet)リアルタイムで離れた地域の生徒の考えを聞くことで、より考えを深めることができる。

4 活用効果

生徒たちは、遠隔地の学校の生徒と発表し合うことで他地域における気候の特徴やそれらによってもたらされる生活への影響について、理解を深めることができた。また、他地域の生徒の発表から、新たな知識や疑問をもち、質問等をする姿も見られた。自分の住んでいる地域と他地域を比較することで、気象現象がもたらすめぐみや災害について理解を深めるとともに、自分の住む地域の良さを再発見することもできた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

相馬市立中村第二中学校（福島県）

【取組内容③】 不登校生徒へのオンライン授業の実施

工夫した
ポイント

Google Meetを利用し、自宅や校舎内のスペシャルサポートルームにいる不登校生徒にオンラインで授業を行った。

〈活用の実際〉

1 本時のねらい

不登校生徒に対して、授業を配信することにより授業支援を行うことで学力の定着に務めた。また、学級担任や教科担任との交流を持つことにより、学校とのつながりを持たせることを意図した。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

Google Meet

タブレット

Google Classroom

3 活用効果

学級担任との交流を持つことにより、所属学級へと復帰できる生徒が見られた。また、オンラインにおける学習支援を行うことにより、生徒に学習内容を定着させるとともに、教師が生徒の評価・評定を行うことができた。



スペシャルサポートルーム内の様子

【取組内容④】 オンライン職員会議の実施とその効果の検証

工夫したポイント	教職員が自宅にいながら会議を行うことにより、非常変災等のような事態においても学校を運営できるよう試行した。
----------	---

〈活用の実際〉

1 活用のねらい

タブレット端末やスマートフォンにより、自宅等の学校から離れた場所に置いても会議を行うことができるようにすることにより非常変災時などの緊急事態に備え、学校を運営可能な状況にすること。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

タブレット

スマートフォン

電子黒板

Google Drive

3 活用効果

すべての教員が自宅等の学校から離れたバスから会議に参加することができた。その際、資料についてGoogleDriveで共有することにより、会議の内容理解につなげることができた。また、会議記録も担当がGoogle docで行うことによって、リアルタイムで共有することができた。



オンライン職員会議時の管理モニターの様子



オンライン職員会議の要項

【取組内容④】 Google Driveの効果的な活用の検証

工夫した
ポイント

Google Drive、Google Classroomで教職員間、連携している小学校、生徒への連絡事項についての情報共有をより簡単かつスピーディーにした。

〈活用の実際〉

1 活用のねらい

Google DriveやGoogle Classroomを用いることにより、情報の共有をスムーズにすることをねらいとした。また、長期休業等における通知・通達等のスムーズな周知することについてもねらいとした。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

Google Drive

Google Classroom

3 作成した共有フォルダ

- 中村第二中学校職員室
 - ・通知、通達
 - ・職員会議
 - ・各教職員フォルダ
- 中村第二中学校－中村第二小学校教頭共有
(同じ学区の小学校と管理職がデータ共有)
- 中村第二中学校各学級
- 不登校支援用

3 活用効果

情報共有にかかる時間が少なくなり、校務の削減につながった。また、リアルタイムの情報共有が可能になったことにより、共通理解・共通実践が以前と比較し容易になり、連携した指導へとつながった。